

オリーブの会通信

2019年6月1日

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



2019年5月28日に川崎市で発生した事件について、被害に遭われた方、ご家族の皆様にご挨拶と哀悼の意を表します。センセーショナルな報道を懸念し、社会的な問題にとらえる、良識あるジャーナリストの記事、ひきこもり経験者の声明文などが早々と発信されました。これも私達家族会、当事者会、自助会の活動により行政はじめ様々な機関と連携が取れるようになったことも、大きな要因だと思います。

NPO法人から任意団体となりましたが、今後ともよろしくお願いたします。

第204回月例会ご案内

日 時	2019年6月23日（日）13:30～16:30（受付：13:00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1研修室・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel:087-867-7686
内 容	☆第1部 13:30～ 会からの報告 13:35～ 講 演 テーマ 『ひきこもり支援について』 講師：町田 弘樹 氏 京都市内にて協同組合ライフアート世話人、 京都府北部の「NPO法人ニュートラル」スタッフ ☆第二部 15:15～16:30 グループ別話し合い
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円 検討中

第205回月例会ご案内

日 時	2019年7月28日（日）13:30～16:30（受付：13:00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階 第1研修室・第2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686
内 容	<p>☆第1部 13:30～ 会の諸報告 13:35～ DVD視聴 テーマ『社会的孤立が生んだ8050問題』 講師等：本年3月に富山、福岡、東京で実施された中より選定 15:00～15:15 休憩</p> <p>☆第二部 15:15～16:30 グループ別話し合い</p>
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円 検討中

第200回月例会（4月28日）の概要

4月28日月例会のDVD視聴概要

標題「誰もが孤立しない共生社会をめざして」 講師：ジャーナリスト 池上 正樹氏

○ 講師のプロフィール

池上氏は、故奥山代表がひきこもり家族会を立ち上げた時に手伝って以来、ひきこもりと関わり、ひきこもり当事者と面談し、大人のひきこもり取材等を通して知見を広めながら、家族会を支援され、今や全国ネットで活躍をされている方である。

○ ひきこもりの実態

今回は、ひきこもり取材を通してひきこもり問題の難しさと当事者と家族が地域社会の中で生きづらさを抱えながら生活をしている実態等を浮き彫りにされた。

○ 事例1 Aさん（40年ひきこもり）の場合

当事者は収入がないため親と同居して40年も生活していたが、親の死亡後、役所に通報や相談もしていなかった。家の様子を見に来た妹が親の死亡に気付いた。それは親の死後20日が経過していた。その時、家の中には食べ物がゼロであった。

当事者が外に出られなかったために支援は全く受けられなかった。もとより、支援は「助けて」と声を上げることから始まることを当事者は知って欲しい。

○ 事例2 Bさん（80歳と40歳の息子）、Cさん（80歳と50歳の息子）の場合

親の年金だけで生活しており、市からは生活困窮者の支援には該当しないと言われていた。「助けて」と言っても支援されなかったケースです。役所の方では、支援する手順（視点）を用意していなかったかもしれないが、当事者と同居する家族への支援については、現場の声を大切にしたい。

A・B・Cさんの事例は、氷山の一角で、各々を検証することで課題が見えてくるものである。各種施策・対策は、結論ありきでなく実態を踏まえたものでなくてはならない。

○ 家族は孤立しがち

家族は、地域から見えにくいいため、家族が地域資源と繋がるのが求められる。当事者が生きる意欲（エネルギー）を持つためには親が地域で遮断されないように繋がる（地域共生）社会を目指し、家族が孤立しないようにする必要がある。

○ 支援とは

当事者は、自分の価値観を守り、生き続けるためにひきこもっているのが、家の中で追い込まないことが大事である。ひきこもりが原因で事件が起こるものではない。事件は、逃げ道がなく、支援も受けられず、精神科医には門前払いされるなどが引き金となっていることが多いので、当事者を責めないようにしたい。

支援は、孤立した家族の実態把握やヒアリングなどを踏まえ、当事者が生きて社会参加できるように支援していく必要がある。

○ 自分らしい生き方

東京では、「フューチャセッション」（関心のある方の集まり）や「ひきこもり新聞」（自分意見を自分の言葉で表現する）がある、そこでは、自分を認めてくれる人との出会いがあり、当事者が生きる自信を回復し、動き出している。当事者は、本当に苦しい気持ちを分かってくれる人との出会いの中で、仲間となり、お互い信頼し合うことが出来れば、それが、社会が応援するキッカケづくりになるので、各々が違いを認める（受容）の心を持って欲しい。

○ 感想

現地取材を踏まえたお話は、豊富な、これからのひきこもり支援・対応に重要なものばかりで、家族が孤立しないで地域社会と共生できるよう、希望を持って前に歩む勇気を与えてくれました。

第203回月例会（5月26日）の概要

定例総会が行われました。

各議案、賛成多数で可決されました。

【6月以降の各会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは☎ 087-802-2567 をお待ちしております - 第5土曜日は全て休みです -	6	1、8、 15、22	土	10:00~16:00	泉・川井ほか
	7	6、13、 20、27	土	10:00~16:00	泉・川井ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先：☎ 087-802-2567 - 第1・3土曜日にいきます -	6	1、15	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野
	7	6、20	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野

(役員会・運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第3回運営委員会	6	15	土	13:30~16:30	
第4回運営委員会	7	20	土	13:30~16:30	
第5回運営委員会	8	17	土	13:30~16:30	
第6回運営委員会	9	21	土	13:30~16:30	

*ポパイの会(居場所活動) 予定は、別途印刷の同封パンフをご活用ください

ポパイの会イベント報告



4月21日(日)国分寺B&Gにて
バーベキュー
バドミントン、フリスビーも
しました



5月12日観音寺、有明浜にて
マテ貝ほり
少ししかとれませんでした。
また来年に期待